

2021年第22回認定看護管理者会総会・研修会の報告

日時：2021年1月23日（土）10:00～16:00

会場：Web開催

参加者数：186名 委任状301名（会員総数865名）

会則第14条に従い、委任状に含め過半数を超えたため総会成立。

総会（10:00～11:05）

報告第1号 2020年事業報告(重点目標総括他)

報告第2号 2020年会計報告・会計監査報告

議案第1号 2021年事業計画

議案第2号 2021年予算

議案第3号 役員改選

議案はすべて承認されました。2021年は下記の目標や活動計画を以て、各地区ブロック役員とともに活動してまいります。

【重点目標】

1. 認定看護管理者として社会情勢にあわせた活動を検討し実践する
 - * コロナ禍での認定看護管理者の活動を推進するために、オンライン等を活用した新たな方法の取り組みを開始する
 - 1) 地域連携を推進する
 - 2) 看護職が働き続けられる勤務環境改善に取り組む
 - 3) 都道府県の認定看護管理者の会との連携を図り、活動を活性化する

【活動計画】

1. 認定看護管理者の看護管理実践の成果を可視化できる取り組みとして、研究活動プロジェクトを推進する
2. 地区ブロック活動を新たな様式で再構築する

ブロック別懇談会（11:25～12:00）

地区ブロックごと、合計11グループに分かれて参加者で討議をしました。

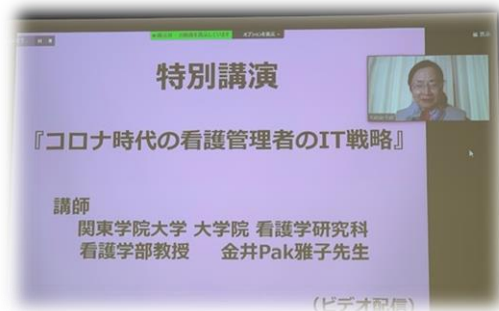
2021年の重点目標に基づき、「認定看護管理者としてITの活用状況や課題」「2021年の活動計画」等をテーマに意見交換するとともに、日ごろの思いを伝え合いました。

特別講演（12:45～14:00）参加者220名

【コロナ時代の看護管理者のIT戦略】

講師：関東学院大学大学院看護学研究科 看護学部教授
金井 Pak 雅子先生

内容：コロナがもたらした変化によって看護管理者には、より一層の経営資源の有効活用



が求められこれまでの在り方や方法の見直しが迫られています。その中、医療界で起きている IT 活用の変化や事例の紹介があり、先生ご自身が研究されている効果的・効率的な教育・研修に関する「VR 教材開発の経緯」と今後の予定が話されました。今後の変化への対応や IT 戦略では、質の高い看護ケアには人の手は不可欠であり、患者・家族への説明や身体的精神的ケアの重要な部分を適切に見極め、人ではなくてもできることは IT の力を有用利用していくことが必要であり、これらを主張していくことが管理者の役割である。看護の原点に立ち患者・家族から求められているケアに対応していくことが大切である。古いものも大事であるが、その中から新しいものを生み出し工夫するという発想の転換から戦略を立ててほしいというエールをいただきました。



システナ社内で司会進行が行われていました

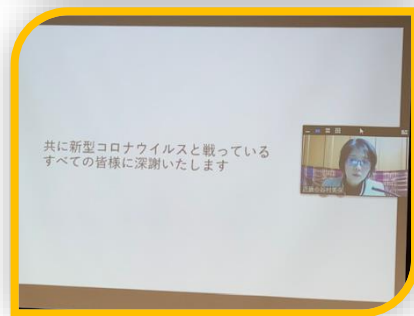
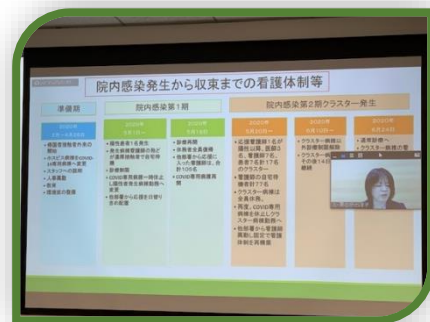
シンポジウム (14:20~15:50) 参加者 204 名

【看護管理者のコロナ戦略】

シンポジスト 3 名

- 公益社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院
看護部長 折出洋子氏
- 医療法人仁風会 小原病院 看護部長 谷村美保氏
- 当会会長 川崎市立多摩病院 副院長兼看護部長
佐藤美子氏

内容：シンポジスト 3 名からは 2020 年 1 月から現在に至る各施設内で発生したクラスター対応・感染対策・新型コロナウイルス陽性者受け入れ状況・メンタルサポートの実践内容が紹介されました。危機的状況の中で努力されてきたこと工夫されたことを共有するとともに、病院や施設の感染対策への方針を適切に伝えることの必要性を感じました。質疑応答では職員のサポート体制は勿論だが、トップマネージャー自身のメンタルサポートの有り様も語られていました。地域の人々を守り・職員を守り・自分自身を守るためには管理者自身が元気で輝く笑顔を絶やすことなく過ごすことが大切でありネットワークの重要性を再認識しました。



最後に

人々の価値観や生活様式を変えた新型コロナウイルス対応の影響から、当会 2021 年総会運営も大きく様変わりしたものとなりました。総会から地区ブロック別懇談会に移行する場面で約 10 分の機械トラブルが発生しましたが、司会進行役である福地副会長の機転から難なく経過することが出来ました。Web 開催が実現できたことは(株)システナ職員の方々の

御協力があつてこそその成果だと感じています。次回総会では新型コロナウイルスが収束し、New Normal が定着することを強く期待しています。



総会を支えて下さいました
システナ社員の皆様及び理事監事役員